

MySQLを利用した ESET PROTECT on-prem V12.x構築手順

第3版
2025年6月19日



もくじ

- はじめに（本資料について）
- MySQL構築作業フロー
 1. 事前準備
 2. MySQL Community Editionのセットアップ
 3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ
 4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

はじめに（本資料について）

はじめに（本資料について）

- 本資料では、オンプレミス型セキュリティ管理ツールESET PROTECT on-prem(略称：EP on-prem)のデータベースとしてMySQLを利用する場合の導入手順を記載しております。
- ドメインコントローラーには、ESET PROTECT on-premが既定で利用するMicrosoft SQL Serverをインストールすることができません。ドメインコントローラーにESET PROTECT on-premを構築する場合、MySQLを利用して構築していただくようお願いいたします。
- 本資料で使用しているESET製品の画面イメージは使用するバージョンにより異なる場合があります。
また、今後画面イメージや文言が変更される可能性があります。
- ESET、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Server Security、ESET PROTECT on-premは、ESET, spol. s.r.o.の商標です。
- Windows、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本 およびその他の国における商標登録または商標です。

はじめに（本資料について）

本資料は、以下の構成を前提として、MySQLを利用してESET PROTECT on-prem V12.xを構築する際の手順の流れをまとめた資料です。

【OS】

- Microsoft Windows Server 2019 (64bit)

【ウイルス・スパイウェア対策プログラム】

- ESET Server Security for Microsoft Windows V12.x

※本手順書を実施する前に、インストールされていることを前提とします。

【ESET PROTECT on-prem V12.xを構築するために利用するプログラム】

- MySQL Community Edition 8.0.34
- ODBC Driver for MySQL 8.0.17
- ESET PROTECT on-prem V12.x

※ ESET PROTECT on-premの動作環境は以下をご参照ください。

[プログラム別動作環境について]

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4926?site_domain=business

【その他利用プログラム】

- テキストエディタ

※MySQL 5.7.26以降のインストールを行う場合は、本手順書を実施する前に、インストールされていることを前提とします。(P21参照)

MySQL構築作業フロー

MySQL構築作業フロー

MySQLを利用してEP on-premを構築するフローは以下となります。

1. 事前準備



2. MySQL Community Editionのセットアップ



3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ



4. ESET PROTECT on-premのセットアップ



5. 完了

MySQL構築作業フロー

1.事前準備

1. 事前準備

MySQLの構築に必要なプログラムを事前にダウンロードします。

- **MySQL Community Edition 8.0.34**

- <https://downloads.mysql.com/archives/installer/> から、[Product Version]で[8.0.34]を選択し、“(mysql-installer-community-8.0.34.0.msi)”をダウンロードします。(32/64bit共用のインストーラーです。)

- ※ MySQLのサポートバージョンについては以下をご参照ください。

- ▼セキュリティ管理ツールのサポート対象データベースについて

- https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/91?site_domain=business

Product Version:	8.0.34	▼
Operating System:	Microsoft Windows	▼

Windows (x86, 32-bit), MSI Installer	Jul 15, 2023	2.4M	Download
(mysql-installer-web-community-8.0.34.0.msi)			
		MD5: 01baf7b42e551d53efb557eed401ff91	Signature
Windows (x86, 32-bit), MSI Installer	Jul 15, 2023	331.3M	Download
(mysql-installer-community-8.0.34.0.msi)			
		MD5: 59eaa511c39011a2f0264311a80b0228	Signature

1. 事前準備

- **ODBC Driver for MySQL 8.0.17**

- <https://downloads.mysql.com/archives/c-odbc/> から、[Product Version]で[8.0.17]を選択し、
“(mysql-connector-odbc-8.0.17-winx64.msi)”をダウンロードします。

Product Version:	8.0.17	▼
Operating System:	Microsoft Windows	▼
OS Version:	All	▼

Windows (x86, 64-bit), MSI Installer (mysql-connector-odbc-8.0.17-winx64.msi)	Jun 19, 2019	13.5M	Download
MD5: e7a2eeaf97f98513175971b9a7dc0adc Signature			
Windows (x86, 32-bit), MSI Installer (mysql-connector-odbc-8.0.17-win32.msi)	Jun 19, 2019	12.8M	Download
MD5: a77a477540217f305a13f7f0deba81bb Signature			

1. 事前準備

- **ESET PROTECT on-prem V12.x**

- 弊社ユーザーズサイト <https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html> から [プログラム/マニュアル]タブを選択して[最新版プログラム／マニュアル ダウンロード]ページに移動し、“ ESET PROTECT on-prem V12.xのオールインワンインストーラー”をダウンロードしてください。

- ※ユーザーズサイトの詳細は以下をご参照ください。

- ▽ユーザーズサイトについて

- https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/87?site_domain=business

- **製品認証キー**

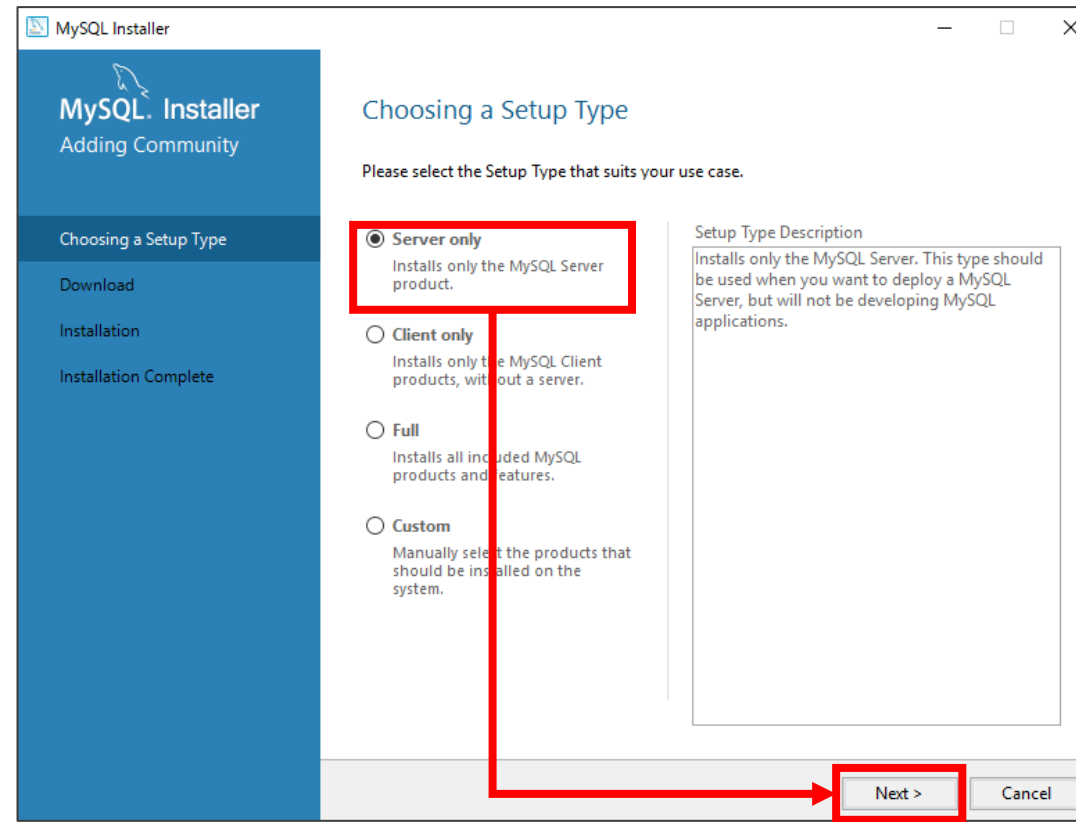
- 上記ユーザーズサイトから、[ライセンス情報/申込書作成]-[アクティベーション情報(プログラムの利用に必要な情報)]-[製品認証キー]をメモ帳などに事前にコピーしてください。ESET PROTECT on-premのインストール時に利用します。

MySQL構築作業フロー

2. MySQL Community Editionのセットアップ°

2. MySQL Community Editionのセットアップ

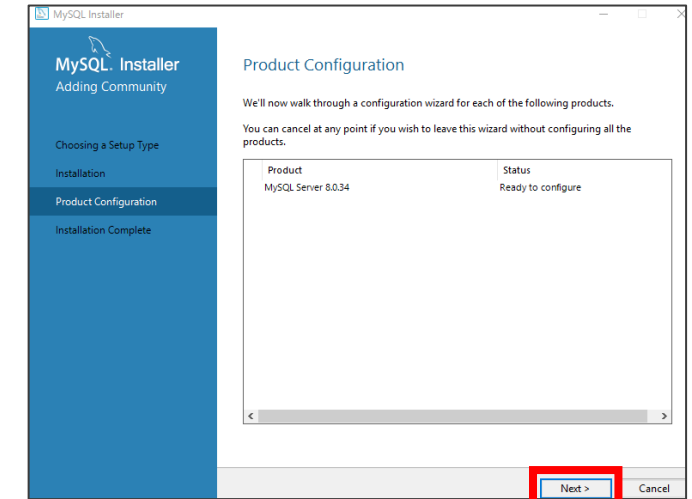
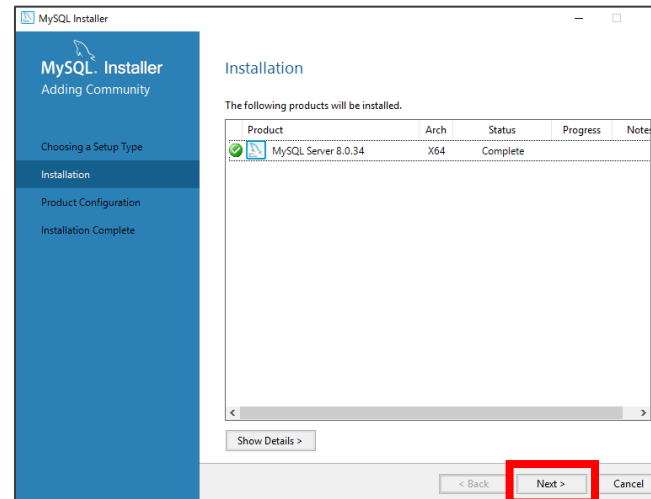
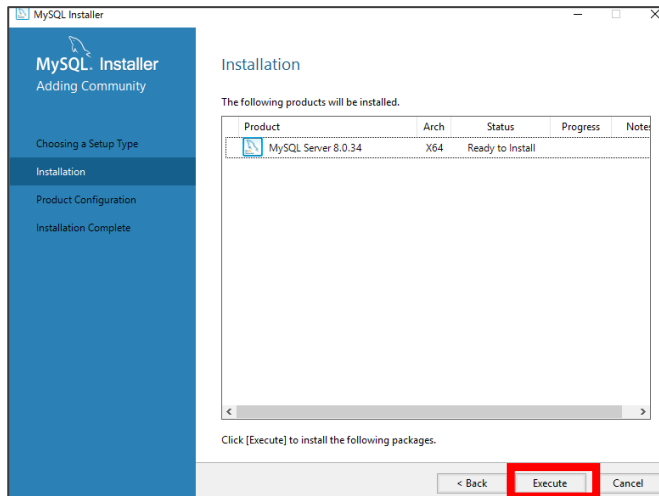
- P8でダウンロードしたインストーラー“(mysql-installer-community-8.0.34.0.msi)”を実行します。
[Server only]を選択し、[Next]をクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

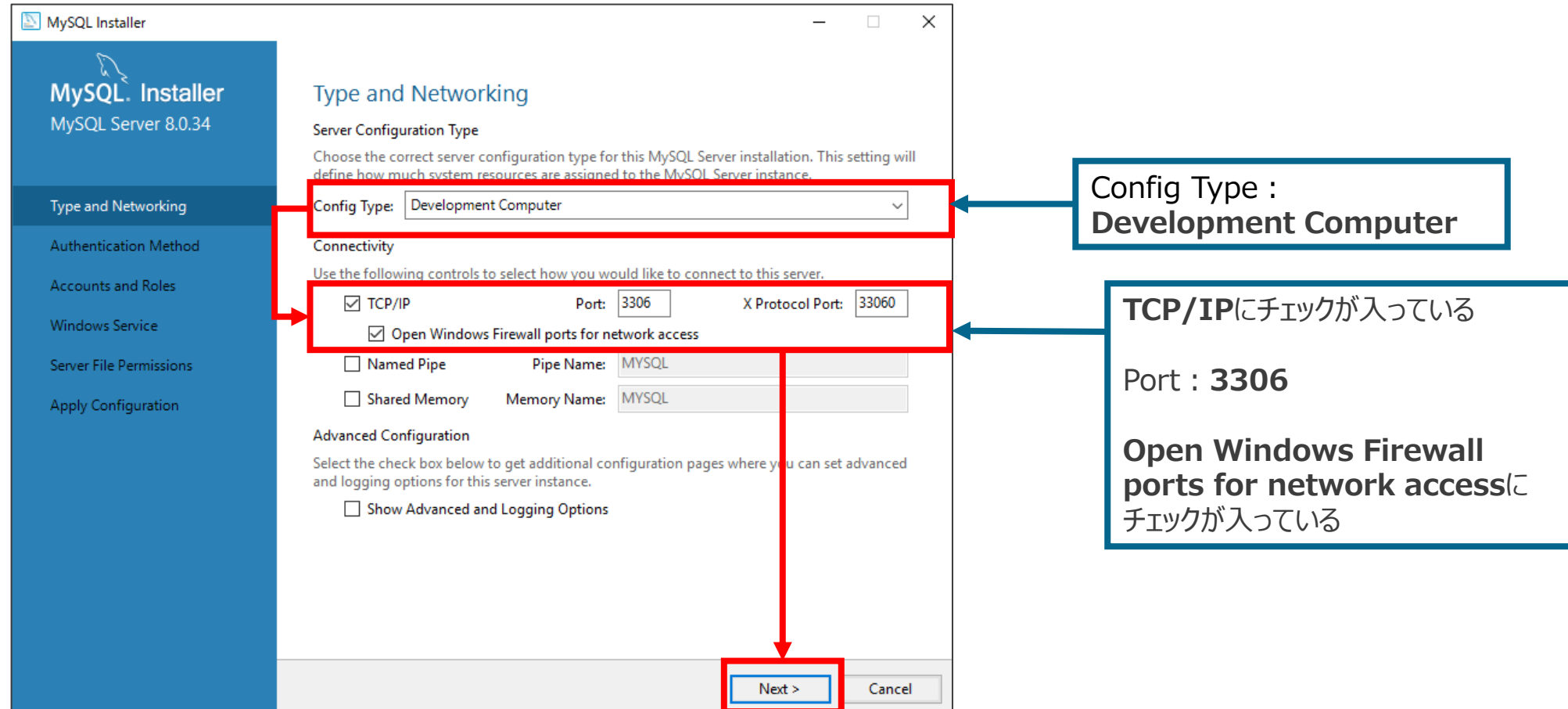
- [Execute]→[Next]→[Next] とクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のものです。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

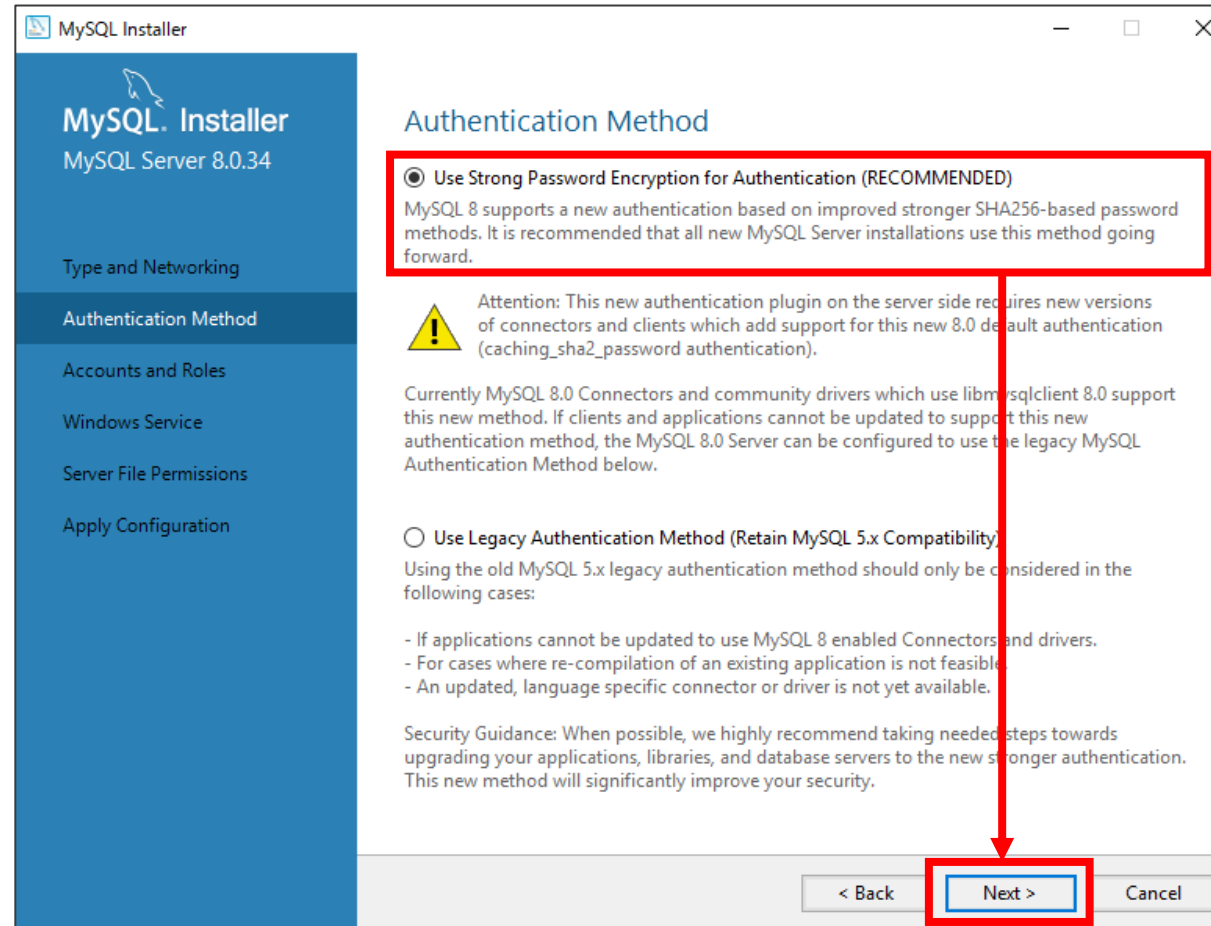
- 以下のように設定されていることを確認し、[Next]をクリックします。
※その他の値もデフォルトのままをお願いいたします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

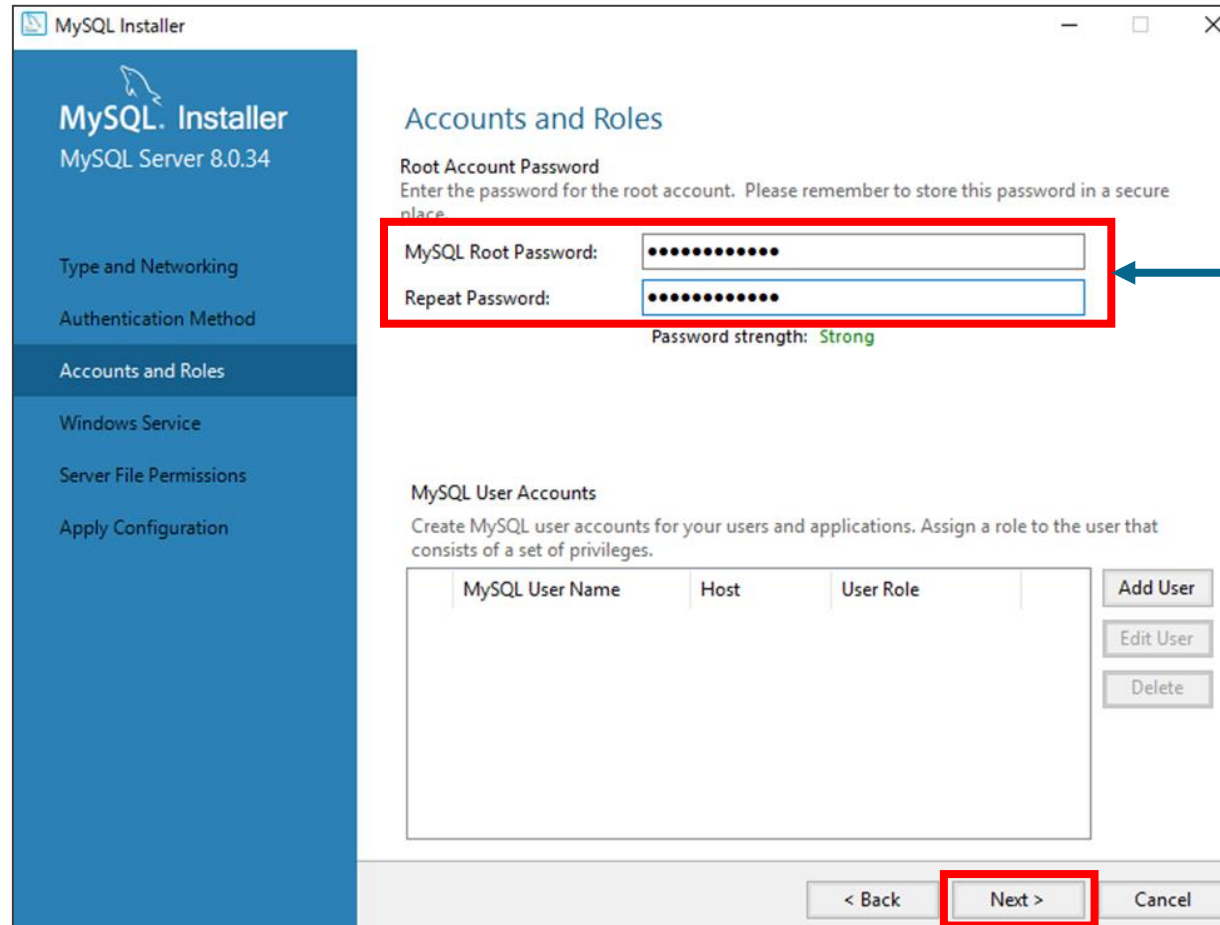
- [Use Strong Password Encryption for Authentication(RECOMMENDED)]を選択し、[Next]をクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

- [MySQL Root Password]および[Repeat Password]で MySQLサーバの管理者パスワードを設定し、[Next]をクリックします。



「ESET PROTECT on-premのセットアップ」
P39でEP on-premインストール時に使用します。

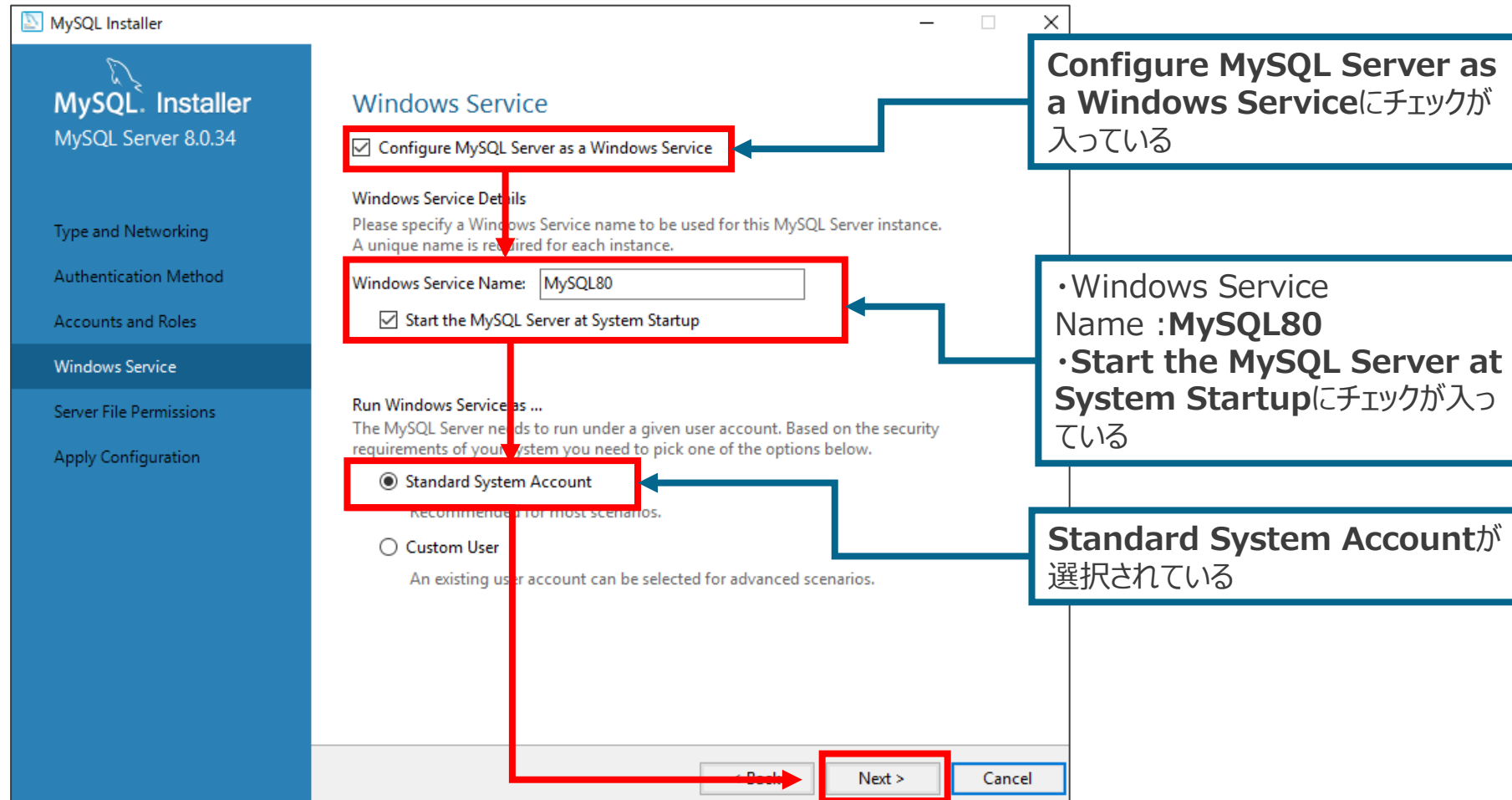
下記パスワードポリシーを満たすようなパスワードを
入力してください。

記号・大文字・数字を含む8文字以上

※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

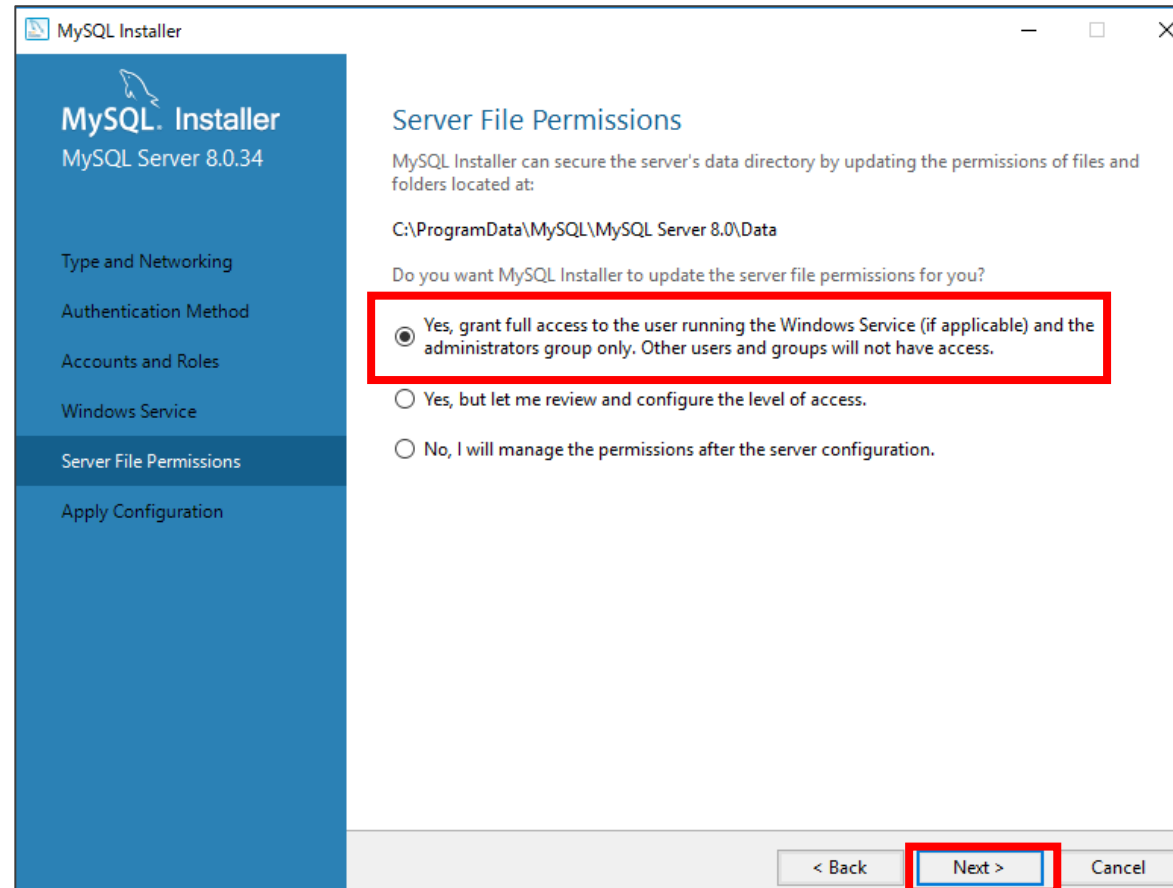
- 以下のように設定されていることを確認し、[Next]をクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

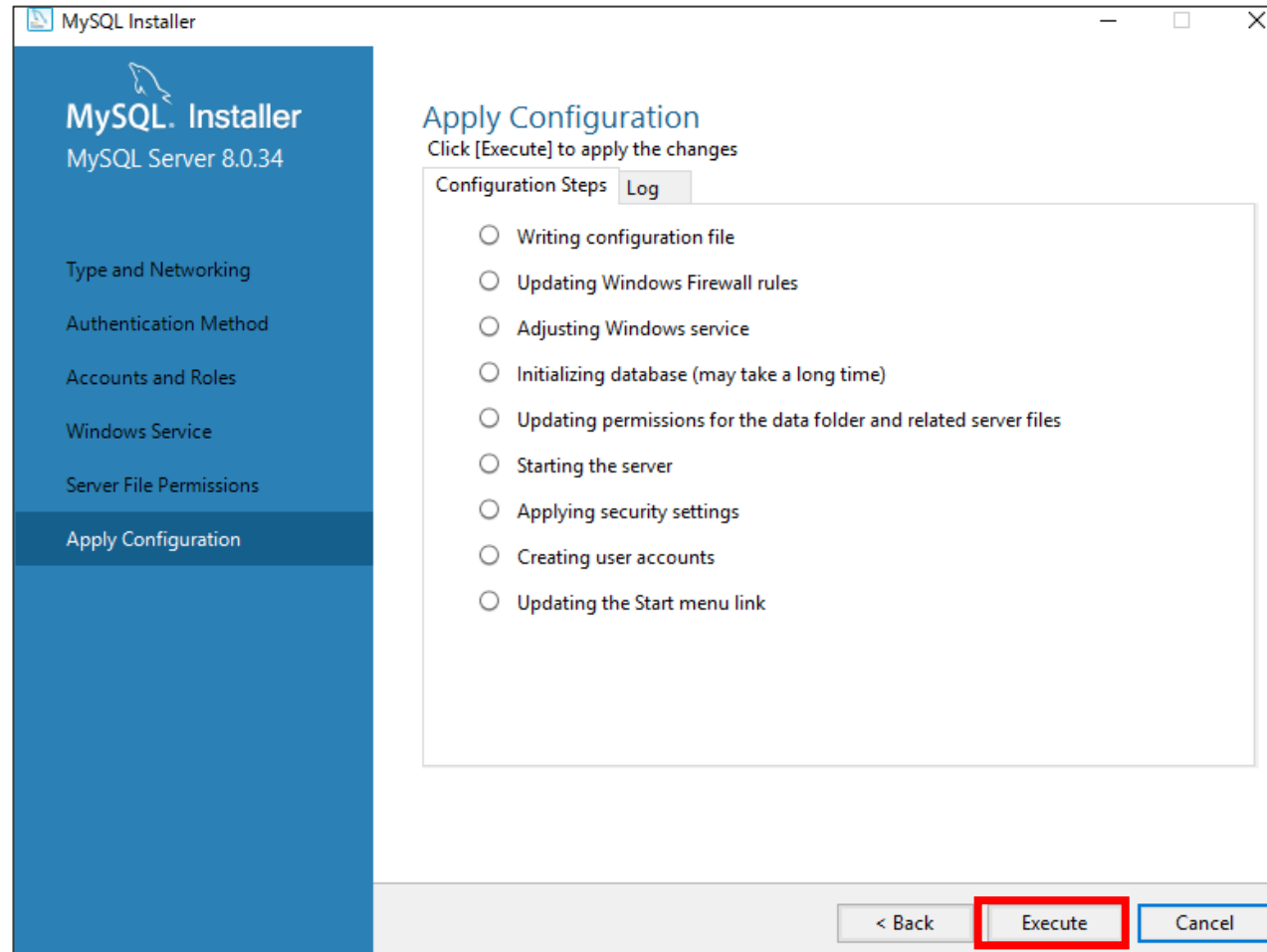
- [Yes, grant full access to the user running the Windows Service(if applicable) and the administrators group only. Other users and groups will not have access.] を選択し、[NEXT]をクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

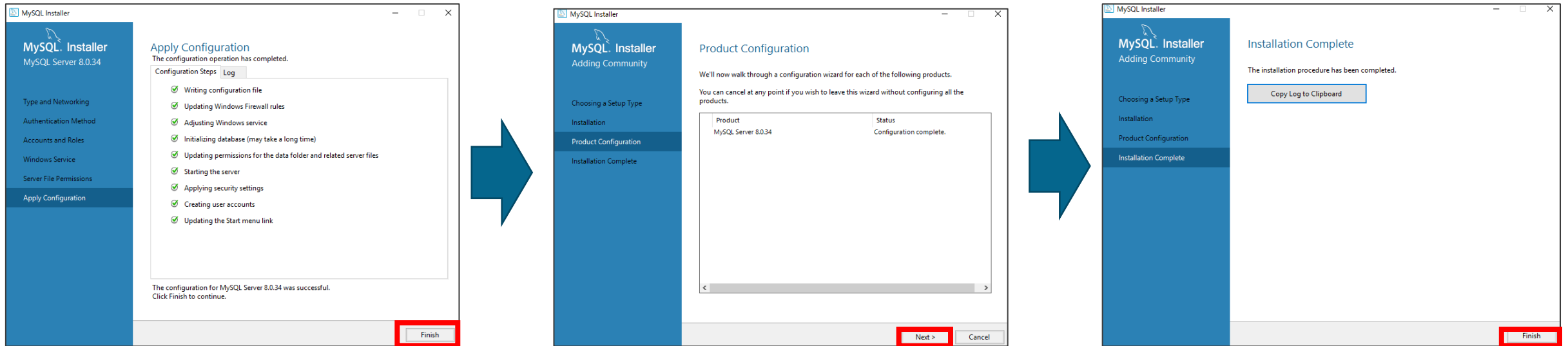
- [Execute]をクリックし、しばらくお待ちください。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のもので。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

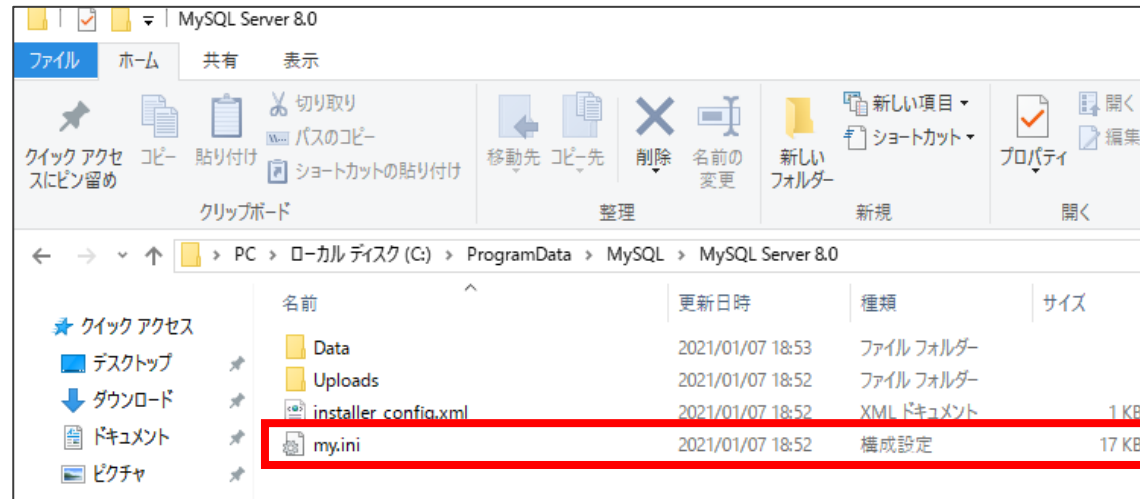
- [Finish]→[Next]→[Finish]とクリックします。



※画像は、MySQL Community Edition V8.0.34のものです。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

- C:\ProgramData\MySQL\MySQL Server 8.0\my.iniをテキストエディタで開きます。
 ※ProgramDataフォルダが表示されていない場合は、[表示]タブから[隠しファイル]のチェックを有効にしてください。
 ※拡張子を表示させるには、[表示]タブから[ファイル名拡張子]のチェックを有効にしてください。



【MySQL 5.7.26以降を使用する場合の注意事項】

ESET PROTECT on-prem V12.0ではMySQL 5.7.26以降、ESET PROTECT on-prem V12.1ではMySQL 8.0以降で対応しておりますが、編集後のmy.iniにBOMが付いていると、MySQLサービスが起動しないことを確認しております。

MySQL 5.7.26以降のmy.iniファイルは、文字コードにUTF-8（BOM無し）を採用しており、一部のWindows メモ帳(notepad.exe)でUTF-8保存するとBOM付きの状態になります。

そのため、my.iniファイルをUTF-8で保存する場合は、Windowsメモ帳ではなく、BOMの有無を選択できるテキストエディタを利用し、BOM無しで保存してください。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

- 以下のように書き換えます。

```

302 ←
303 # The minimum size of the buffer that is used for plain index scans, range index scans, and joins that do not use ←
304 # indexes and thus perform full table scans. ←
305 join_buffer_size=256K ←
306 ←
307 # The maximum size of one packet or any generated or intermediate string, or any parameter sent by the ←
308 # mysql_stmt_send_long_data() C API function. ←
309 #max_allowed_packet=64M ←
310 max_allowed_packet=33M ←
311 ←
312 # If more than this many successive connection requests from a host are interrupted without a successful connection, ←
313 # the server blocks that host from performing further connections. ←
314 max_connect_errors=100 ←
315 ←
316 # The number of file descriptors available to mysqld from the operating system ←
317 # Try increasing the value of this option if mysqld gives the error "Too many open files". ←
318 open_files_limit=8161 ←
319 ←
320 # If you see many sort_merge_passes per second in SHOW GLOBAL STATUS output, you can consider increasing the ←
321 # sort_buffer_size value to speed up ORDER BY or GROUP BY operations that cannot be improved with query optimization ←
322 # or improved indexing. ←
  
```

#max_allowed_packet=64M ←コメントアウト
max_allowed_packet=33M ←追記

2. MySQL Community Editionのセットアップ

- 以下のように書き換えます。

```

330 # If the value of this variable is greater than 0, a replica synchronizes its master.info file to disk.↵
331 # (using fdatsync()) after every sync_source_info events.↵
332 sync_source_info=10000↵
333 ↵
334 # If the value of this variable is greater than 0, the MySQL server synchronizes its relay log to disk.↵
335 # (using fdatsync()) after every sync_relay_log writes to the relay log.↵
336 sync_relay_log=10000↵
337 ↵
338 ↵
339 # Load mysql plugins at start."plugin_x ; plugin_y".↵
340 # plugin_load↵
341 ↵
342 # The TCP/IP Port the MySQL Server X Protocol will listen on.↵
343 loose_mysqlx_port=33060↵
344 ↵
345 innodb log file size=200M↵
  
```

innodb_log_file_size=200M ←追記

「innodb_log_file_size=48M」という記載がありましたら、

「**#innodb_log_file_size=48M**」←コメントアウトしてください。

※「innodb_log_file_size=48M」の記載がない場合は上記の対応は実施せず、上記の文言の追記のみ実施ください。

2. MySQL Community Editionのセットアップ

- さらに、以下のように書き換えます。上書き保存しmy.iniを閉じます。
上書きがアクセス拒否される場合は、"MySQL Server 8.0"フォルダに権限を与えて下さい。

```

99  ←
100 # The default character set that will be used when a new schema or table is ←
101 # created and no character set is defined ←
102 # character-set-server= ←
103 character-set-server=utf8 ←
104 log_bin_trust_function_creators=1 ←
105 ←
106 # Administers multifactor authentication (MFA) capabilities. It applies to the authentication ←
107 # factor-related clauses of CREATE USER and ALTER USER statements used to manage MySQL account ←
108 # definitions, where "factor" corresponds to an authentication method or plugin associated ←
109 # with an account. ←
110 authentication_policy=*,, ←
111 ←
  
```

#character-set-server= ←コメントアウト
character-set-server=utf8 ←追記
log_bin_trust_function_creators=1 ←追記

【MySQL 8.0 を使用する際の注意事項】

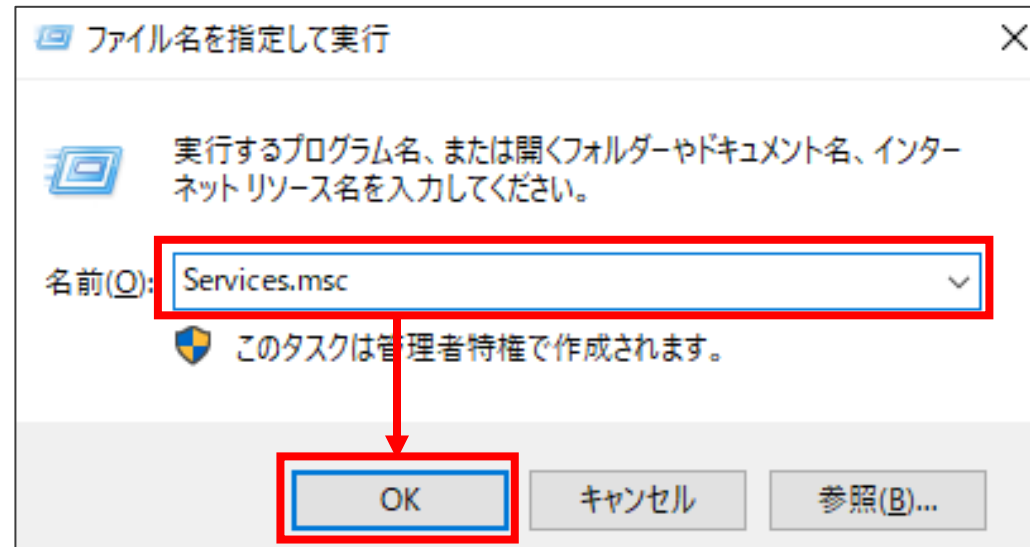
バイナリログが既定で有効のため、必要に応じて無効にしてください。
 disable-log-bin=0

【MySQL 5.7.10以前のバージョンを使用する際の注意事項】

MySQL 5.7.10 以前のバージョンでは既定でパスワードの有効期限が360 日に設定されています。
 default_password_lifetime = 360
 パスワードの有効期限が切れた場合は、EPにログインできなくなりますのでご注意ください。
 default_password_lifetime = 0 とすることでパスワードの有効期限は無くなります。

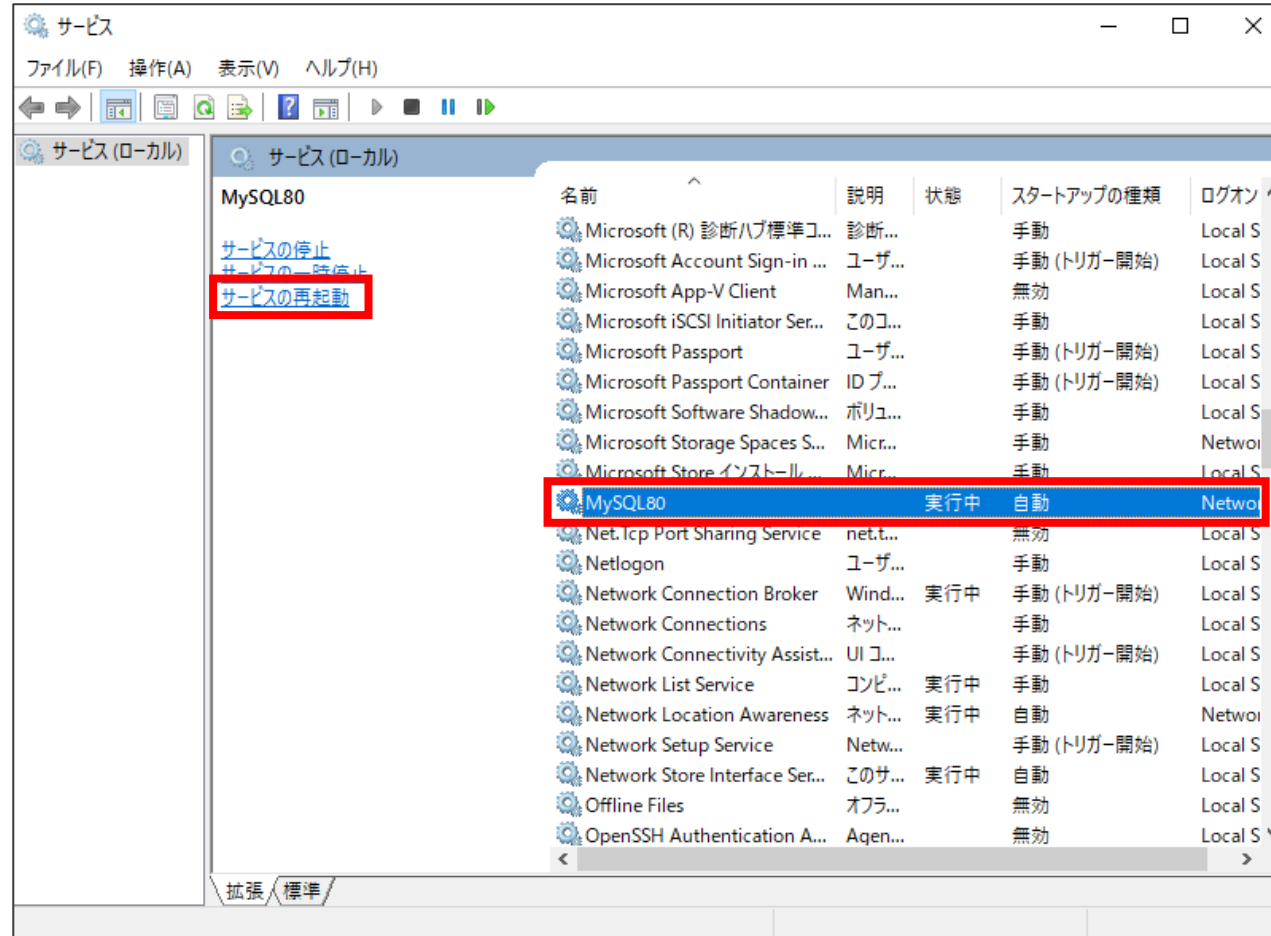
2. MySQL Community Editionのセットアップ

- Windowsキー+Rキーで[ファイル名を指定して実行]を開きます。
- 入力欄に"Services.msc"と入力し、[OK]をクリックします。



2. MySQL Community Editionのセットアップ

- [MySQL80]サービスを再起動します。
- 以上で、MySQL Community Editionのセットアップは完了です。

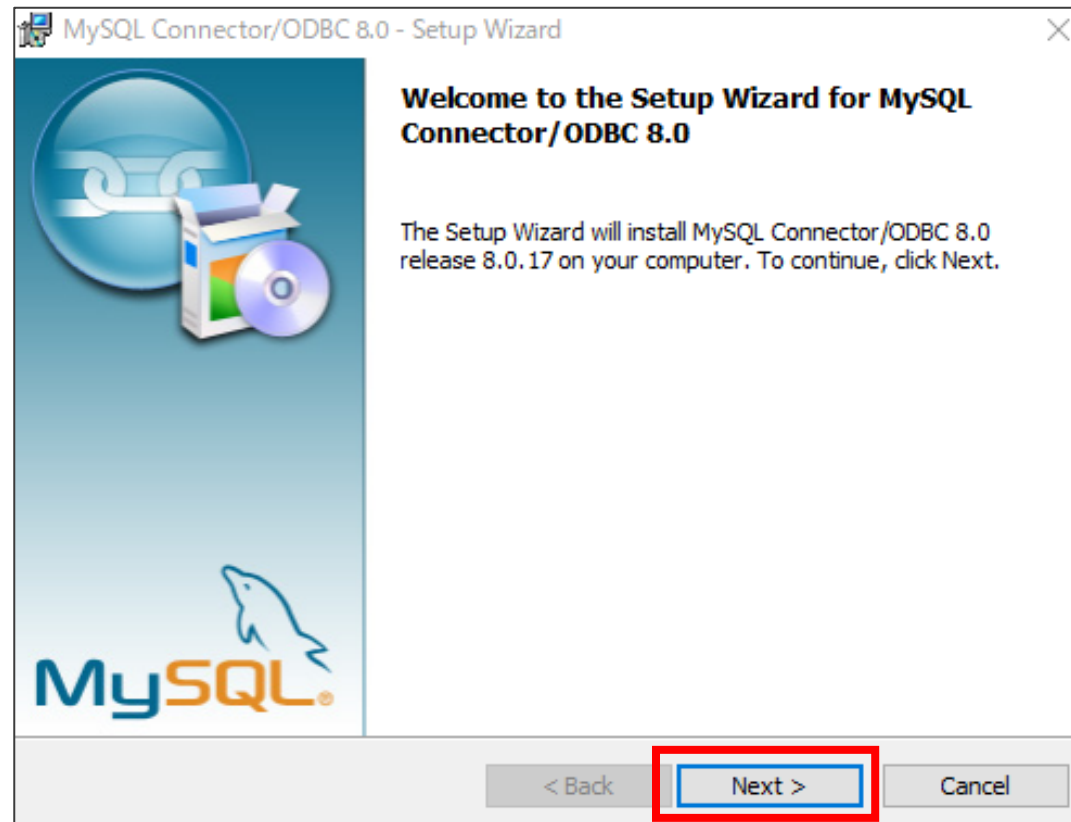


MySQL構築作業フロー

3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ°

3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ

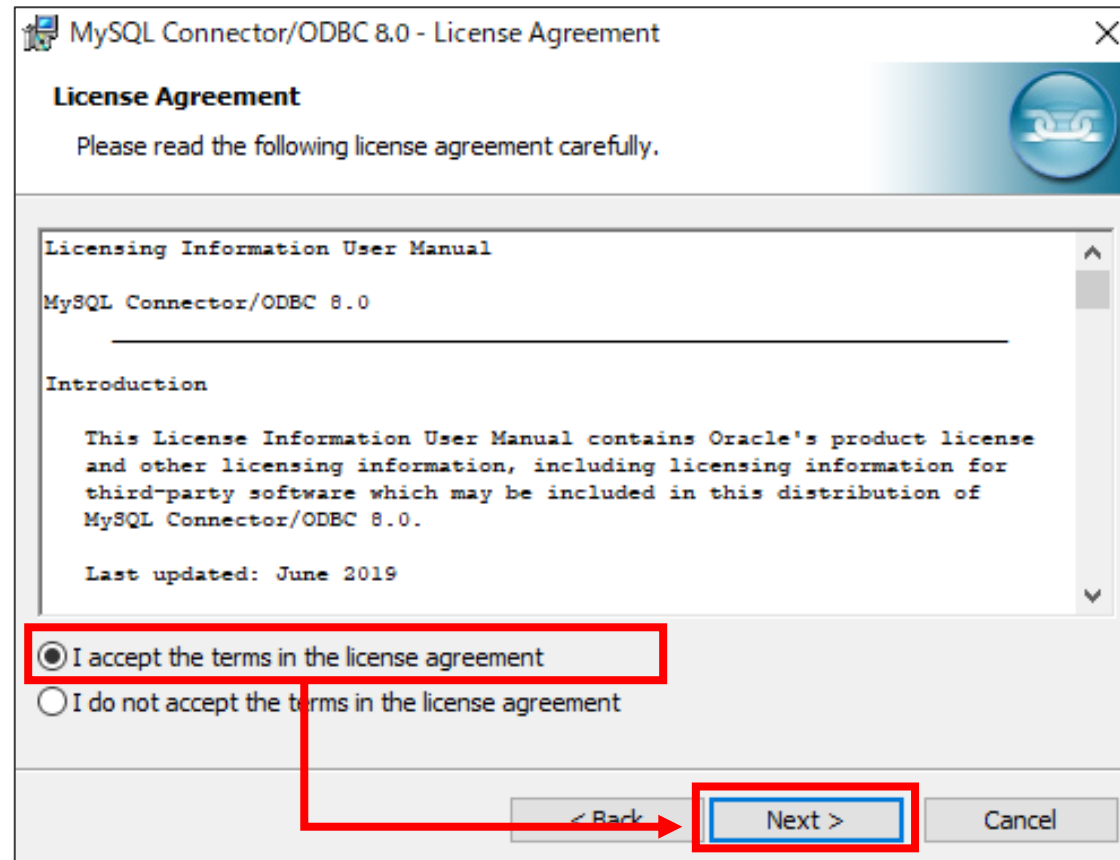
- P 9 でダウンロードしたインストーラー“(mysql-connector-odbc-8.0.17-winx64.msi)”を実行します。
- [Next]をクリックします。



※画像は、ODBC Driver for MySQL V8.0.17のものです。

3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ

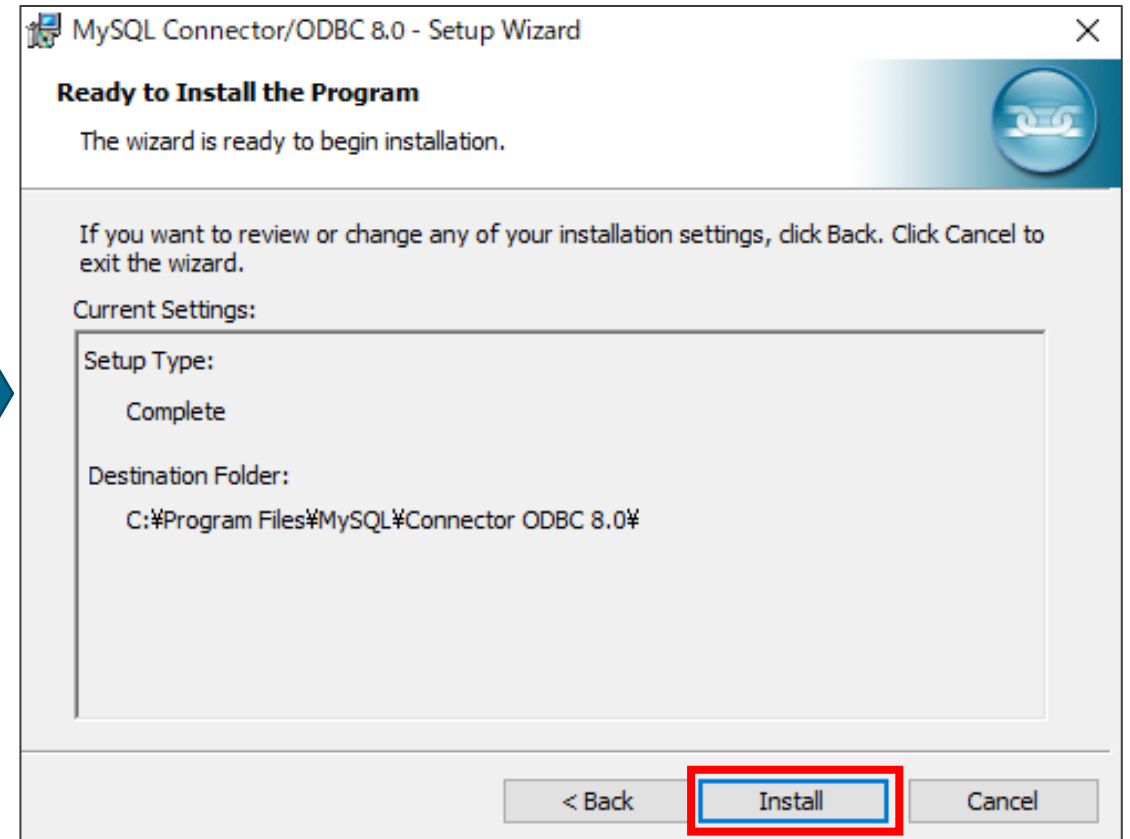
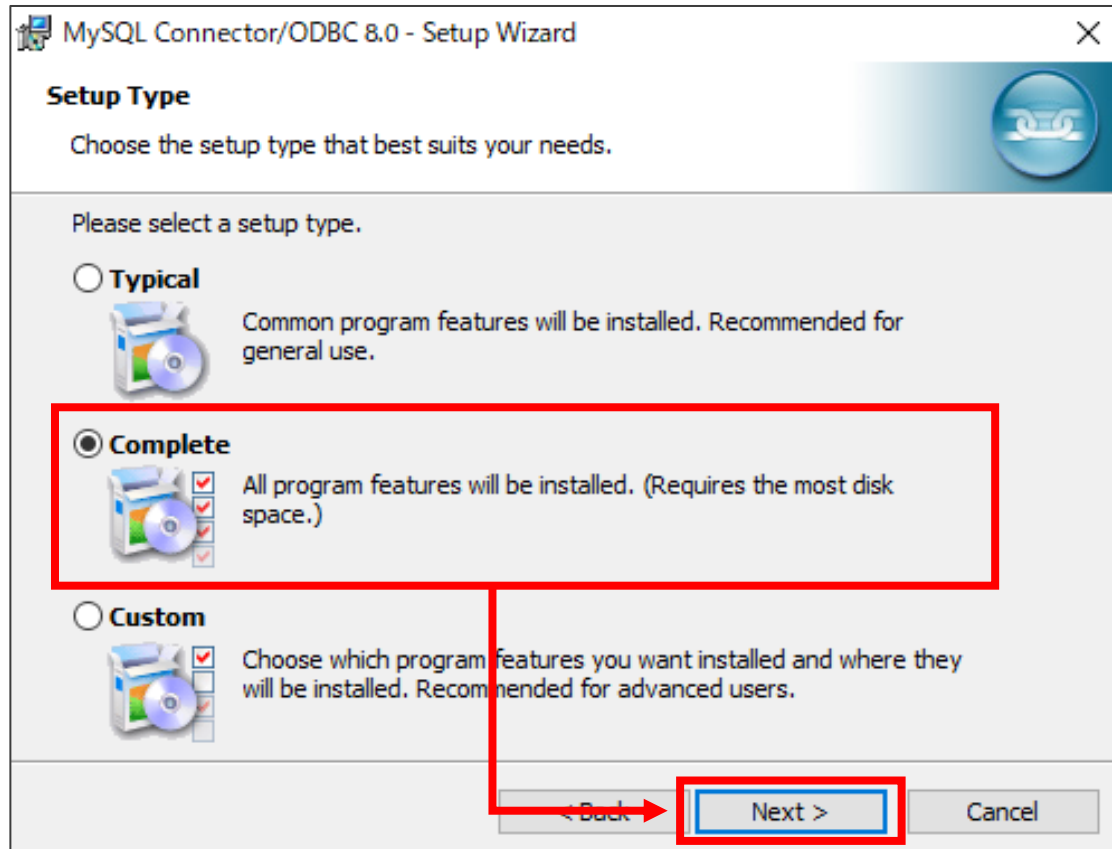
- [License Agreement]に同意したら、[I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next]をクリックします。



※画像は、ODBC Driver for MySQL V8.0.17のものです。

3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ

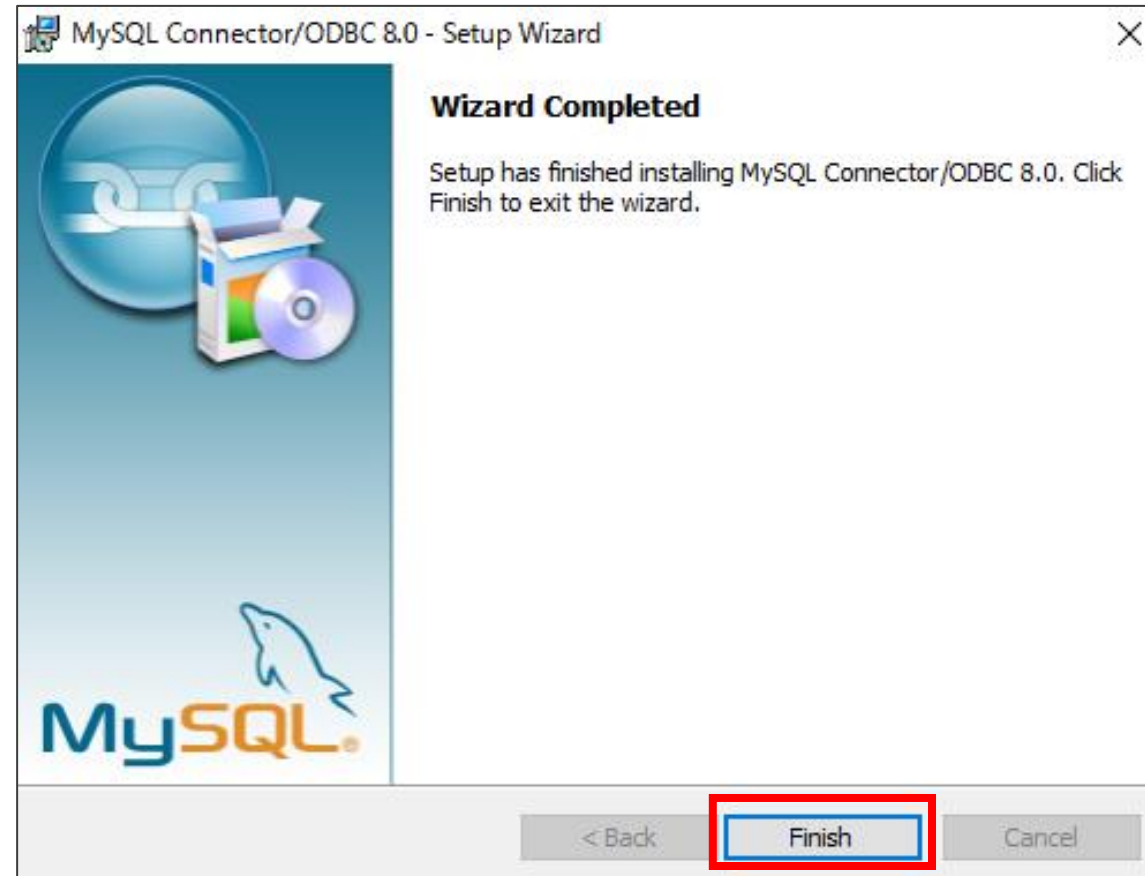
- [Complete]を選択し、[Next]をクリックします。
- [Install]をクリックします。



※画像は、ODBC Driver for MySQL V8.0.17のものです。

3. ODBC Driver for MySQLのセットアップ

- [Finish]をクリックします。
以上で、ODBC Driver for MySQLのセットアップは完了です。



※画像は、ODBC Driver for MySQL V8.0.17のもので。

MySQL構築作業フロー

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ°

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

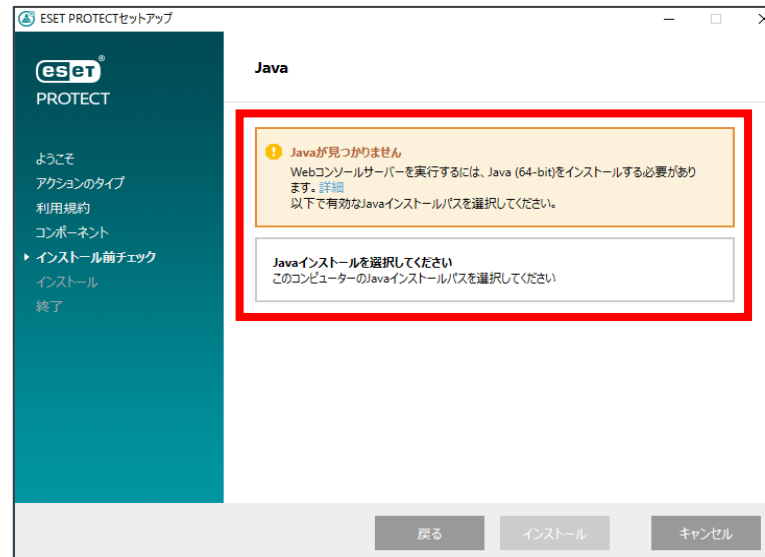
【 ESET PROTECT on-prem V12.Xをインストールする前の事前準備】

ESET PROTECT on-prem V12.Xのインストール作業を行う前に、事前準備として「64bit版のJava」および「.NET Framework 4.7.2以降」をインストールしてください。

※Javaに関しては、有償版JREまたは無償版JDKであるAmazon Corretto 17の使用を推奨しております。
Amazon Corretto のインストール方法については下記URLをご参照ください。

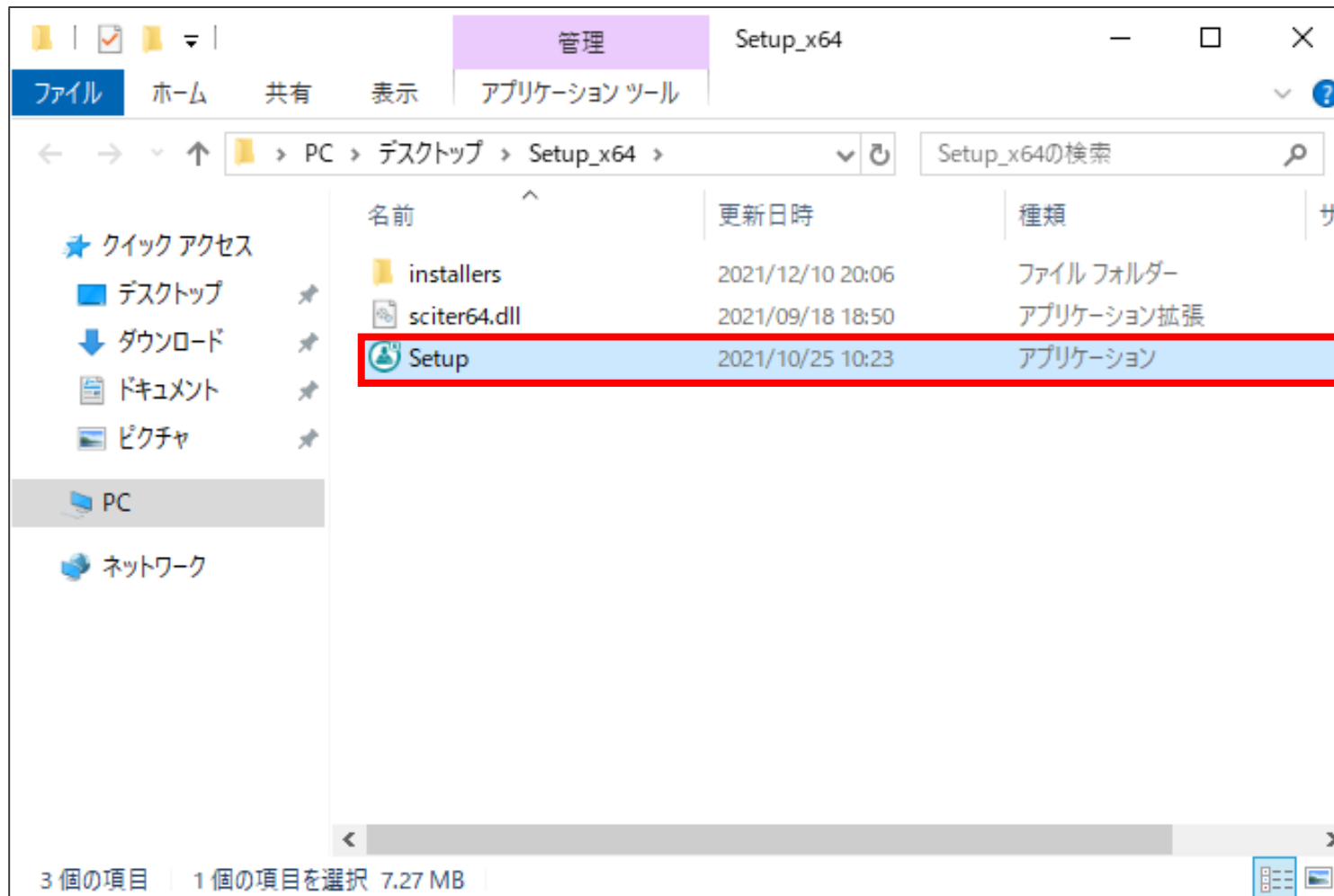
[【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？]
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business

※インストールされていない場合、ESET PROTECTをインストールする途中で、以下の画面が表示されますので、表示された場合は上記のミドルウェアをインストールしてください。



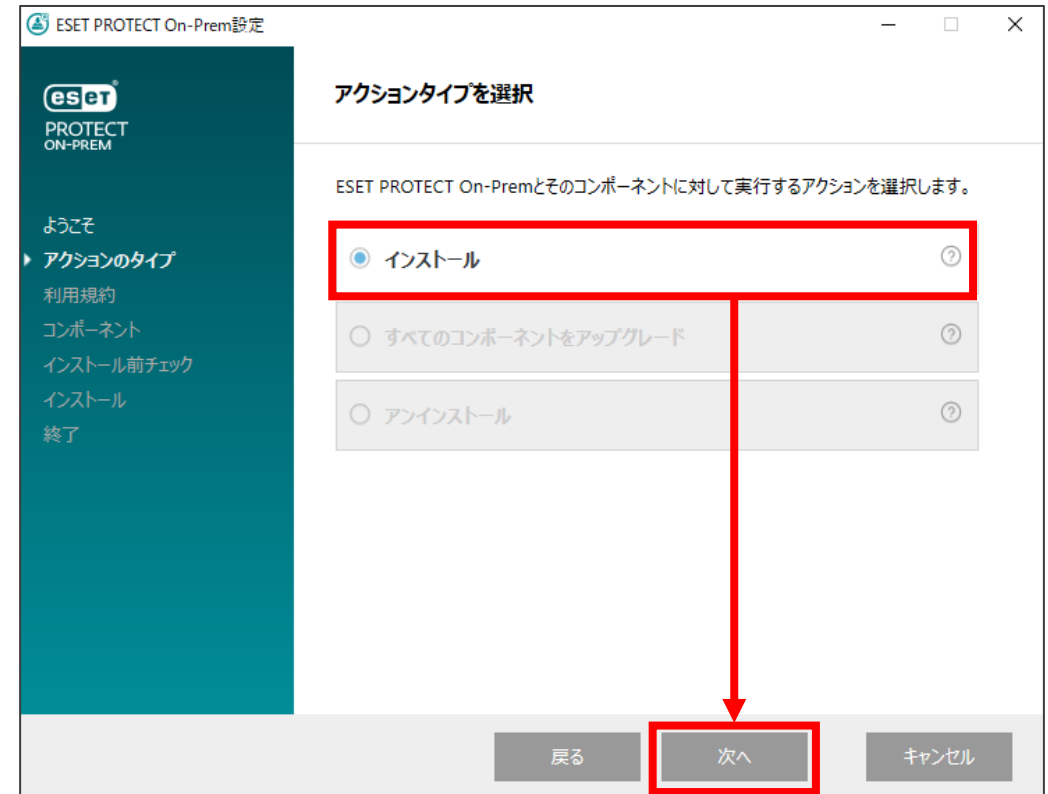
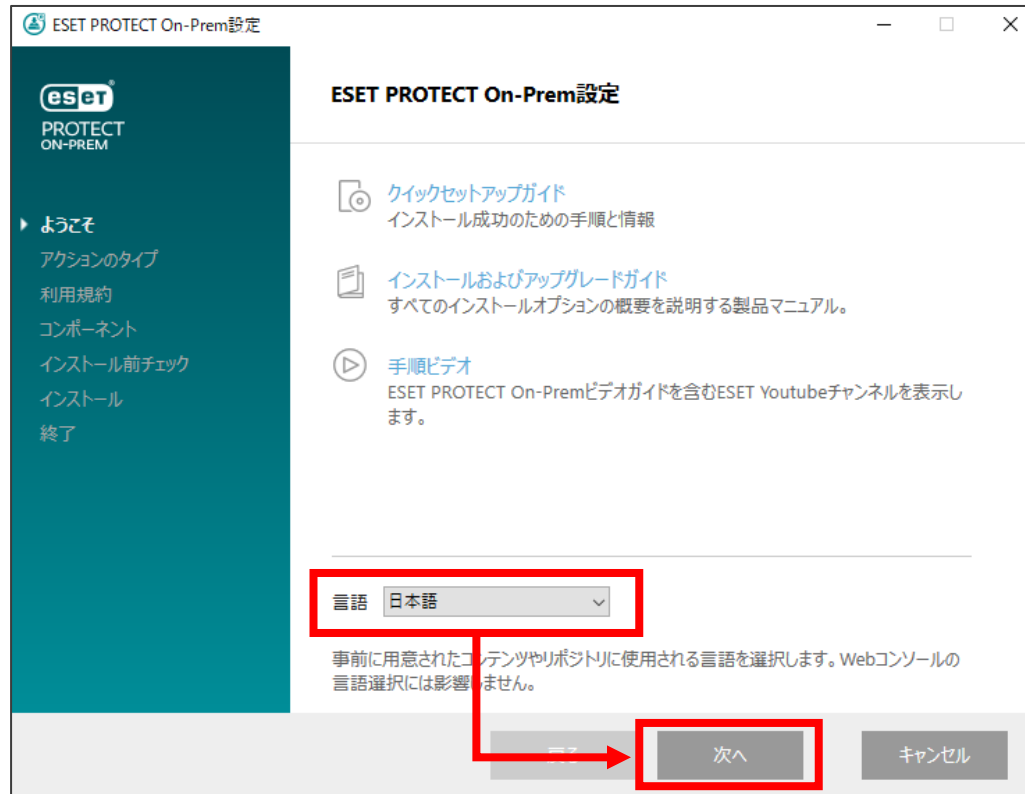
4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- P10でダウンロードしたzipファイルを展開し、“Setup.exe”を実行します。



4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

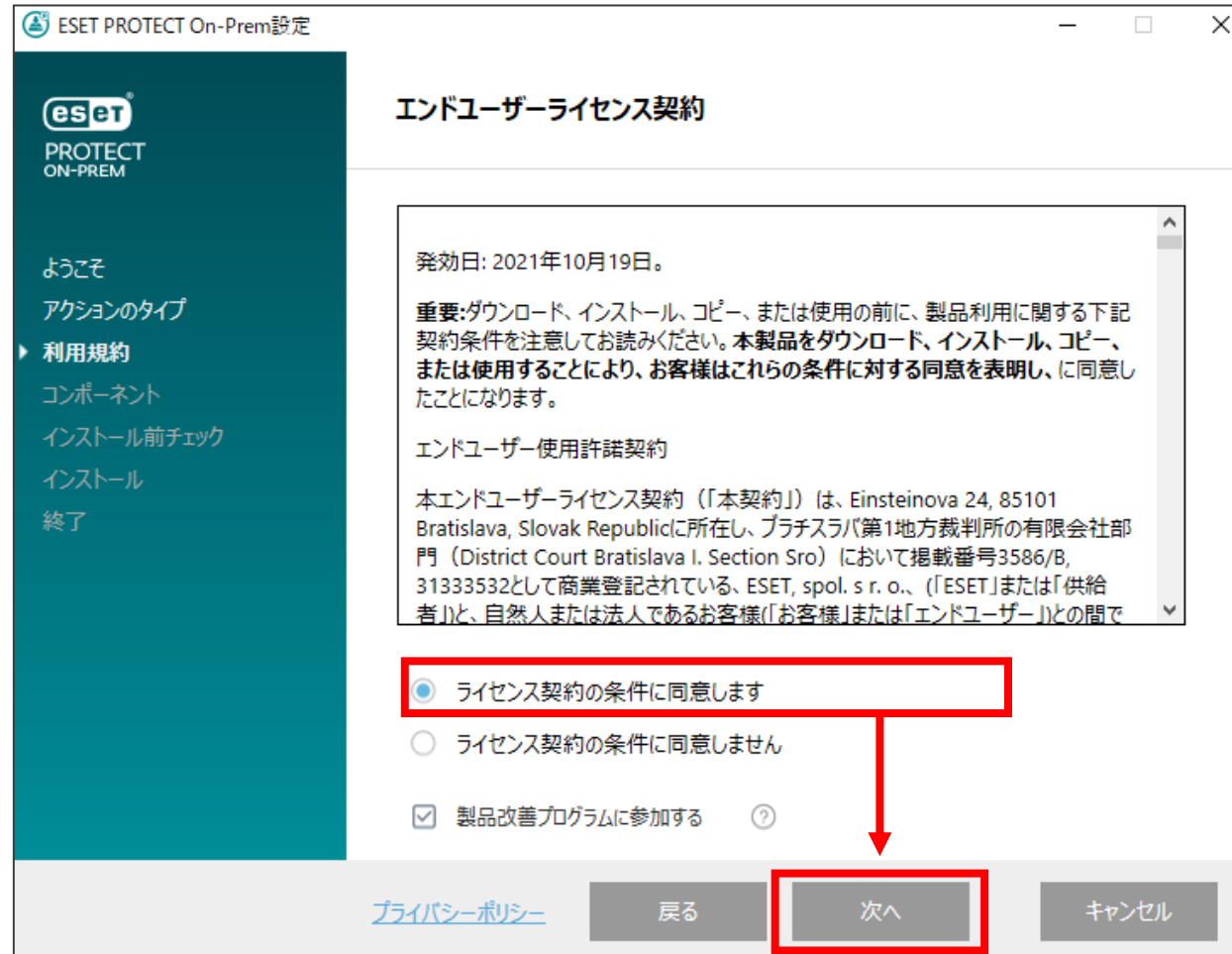
- 言語で[日本語]を選択し、[次へ]をクリックします。
- [アクションタイプを選択]で[インストール]を選択し、[次へ]をクリックします。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

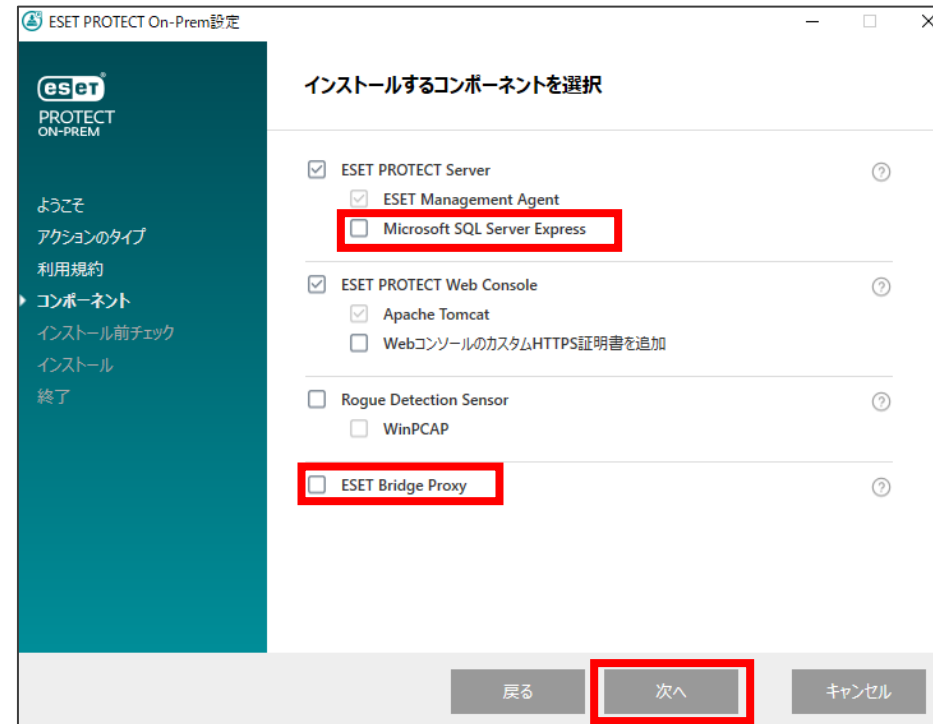
- エンドユーザーライセンス契約に同意したら、[ライセンス契約の条件に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

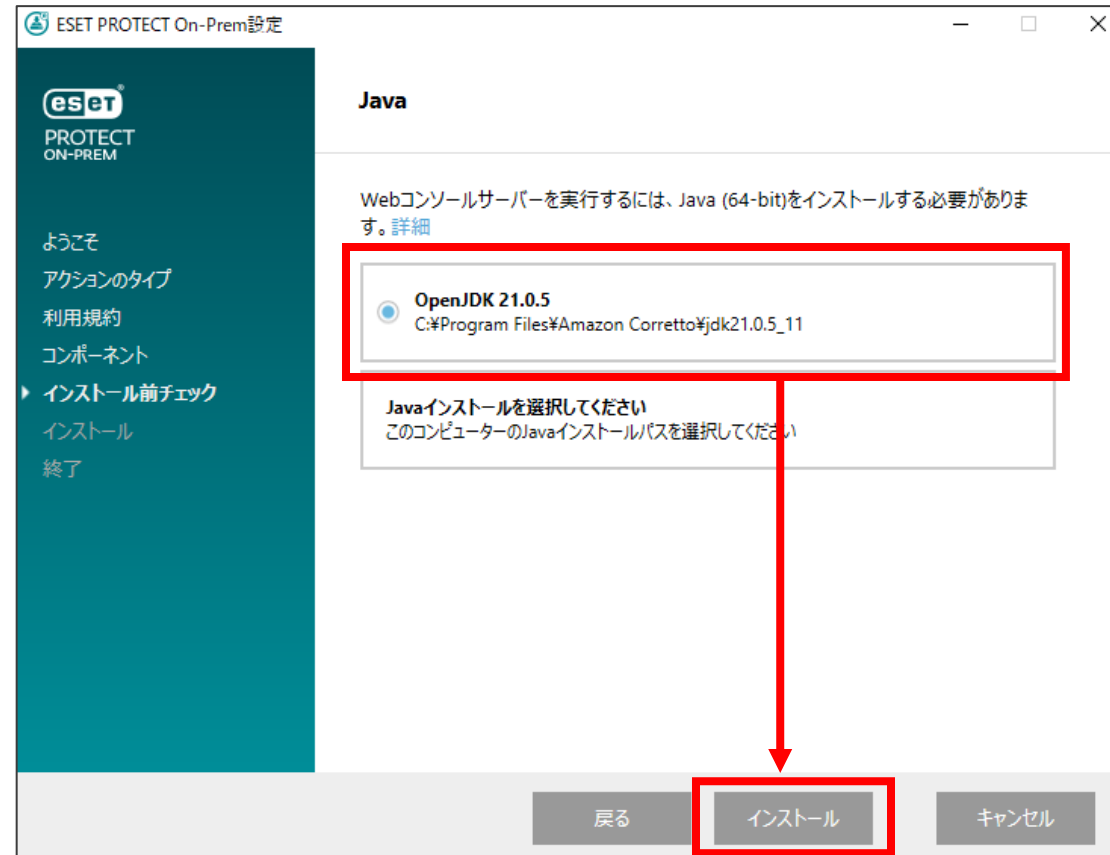
- [インストールするコンポーネントを選択]で[Microsoft SQL Server Express]、[ESET Bridge Proxy] のチェックを外し、[次へ]をクリックします。
※お客様のご利用条件に合わせて、[Rogue Detection Sensor]も選択してください。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- Webコンソールで使用する64bit版のJavaを選択します。
- [インストール]をクリックします。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- ESET PROTECT on-prem Server セットアップ画面が表示されます。
- [次へ]をクリックします。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- データベースサーバー接続では以下の通り設定を行います。
- [次へ]をクリックします。

ESET PROTECT Server セットアップ

データベースサーバー接続
データベースサーバー接続を入力してください。

データベース: MySQL Server
ODBCドライバ: MySQL ODBC 8.0 Unicode Driver
データベース名: era_db
ホスト名: localhost
ポート: 3306

データベースアカウント
ユーザー名: root
パスワード:

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

データベース: **MySQL Server**
ODBCドライバ: **MySQL ODBC 8.0 Unicode Driver**
データベース名: **era_db**
ホスト名: **localhost**
ポート: **3306**

ユーザー名: **root**
パスワード: **「MySQL Community Editionのセットアップ」P16で設定したパスワード**

※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- 「指定されたユーザー‘root’をESET PROTECT on-premのデータベースユーザーとして使用しますか？」とメッセージが表示された場合、問題なければ[有効]をクリックします。
※別ユーザーを使用する場合は[無効]をクリックし、[新しいユーザーを作成]が選択されていることを確認した上で[パスワード]に任意のパスワードを入力します。

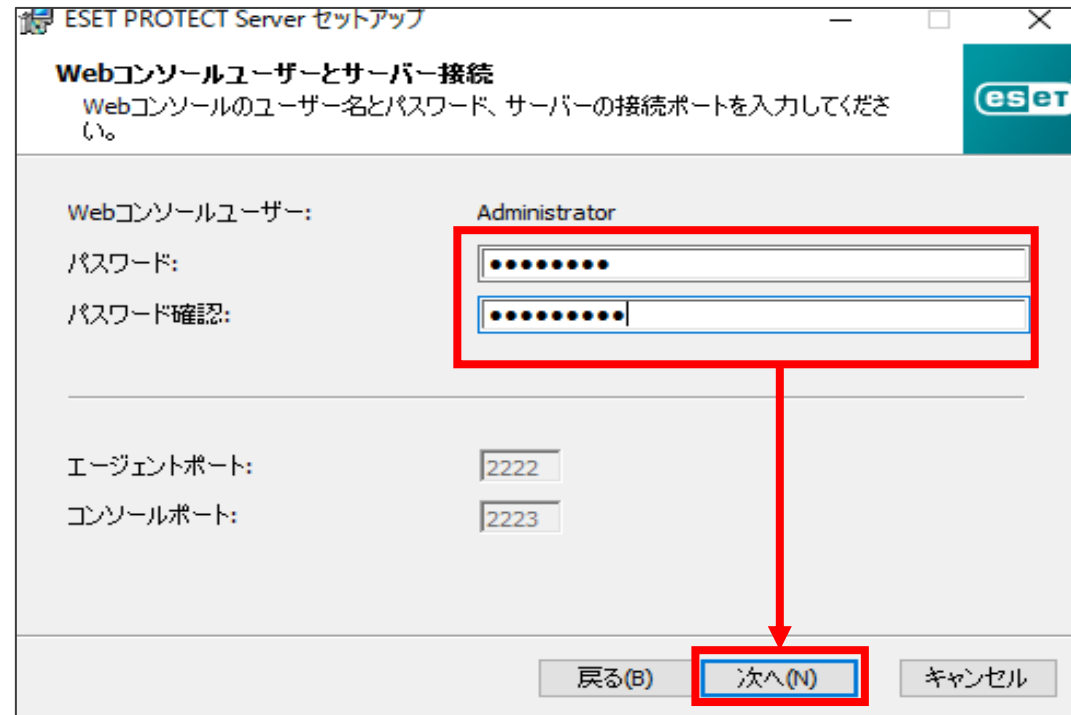


4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- Webコンソールにログインする際のパスワードを設定します。
- [次へ]をクリックします。

※ 設定するパスワードは以下の要件を満たす必要があります。

- 10文字以上
- 小文字 / 大文字 / 番号 / 特殊文字 のうち、少なくとも3つを組み合わせる



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

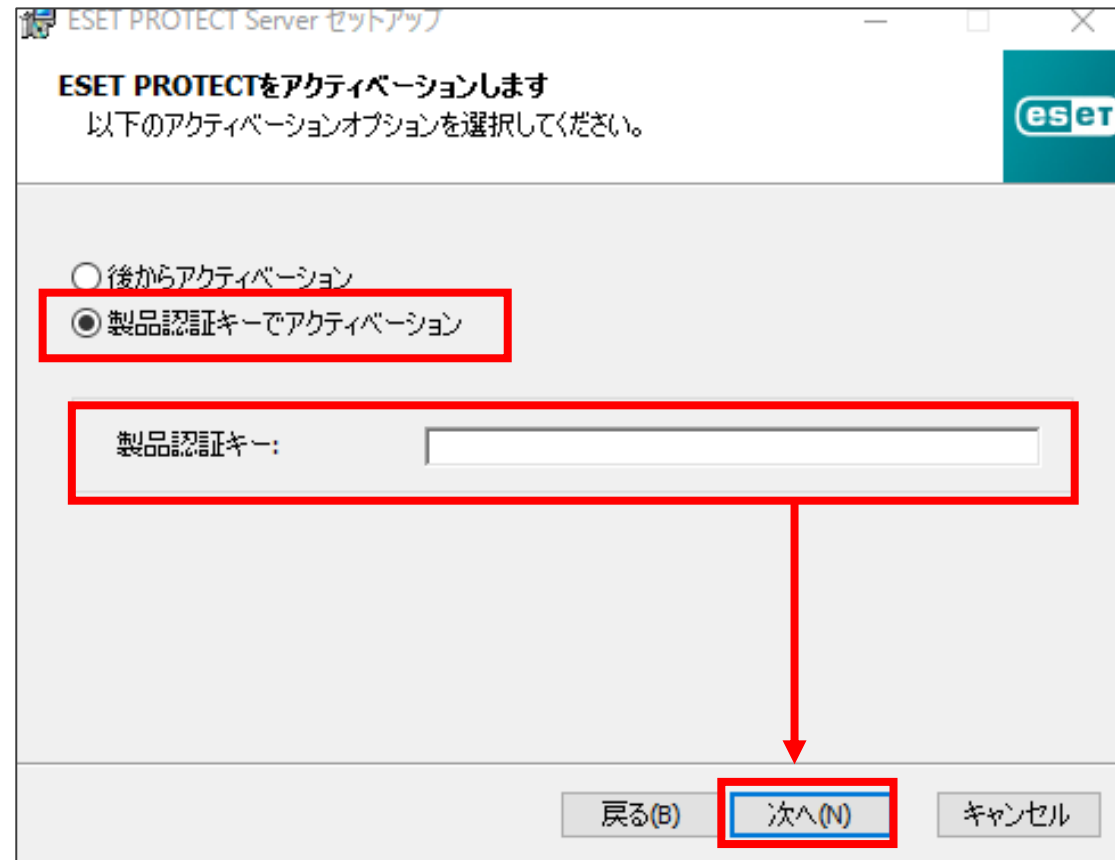
- 証明書を設定します。(設定しなくても問題ありません。必要に応じて、追加設定をしてください)
- [次へ]をクリックします。

The screenshot shows the 'ESET PROTECT Server セットアップ' (Setup) window. The title bar includes the ESET logo and window controls. The main heading is '証明書情報' (Certificate Information) with the instruction '以下に共通証明書情報を入力してください。' (Enter common certificate information below). The form contains several input fields: '組織単位:' (Organization Unit), '組織:' (Organization), 'ローカル:' (Local), '州/国:' (State/Country) with a dropdown arrow, '証明書の有効期間: *' (Certificate Validity Period: *) with a value of '10' and a unit dropdown set to '年' (Years). Below these are '権限共通名: *' (Common Name: *) with the value 'サーバー認証局' (Server Certification Authority) and '権限パスワード:' (Certificate Password). At the bottom left, it says '* 必須フィールド' (* Required Fields). At the bottom right, there are three buttons: '戻る(B)' (Back), '次へ(N)' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). A red rectangle highlights the '次へ(N)' button, and a red arrow points from the '証明書の有効期間' field down to it.

※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- [製品認証キーでアクティベーション]を選択し、P10で確認した製品認証キーを入力します。
- [次へ]をクリックします。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

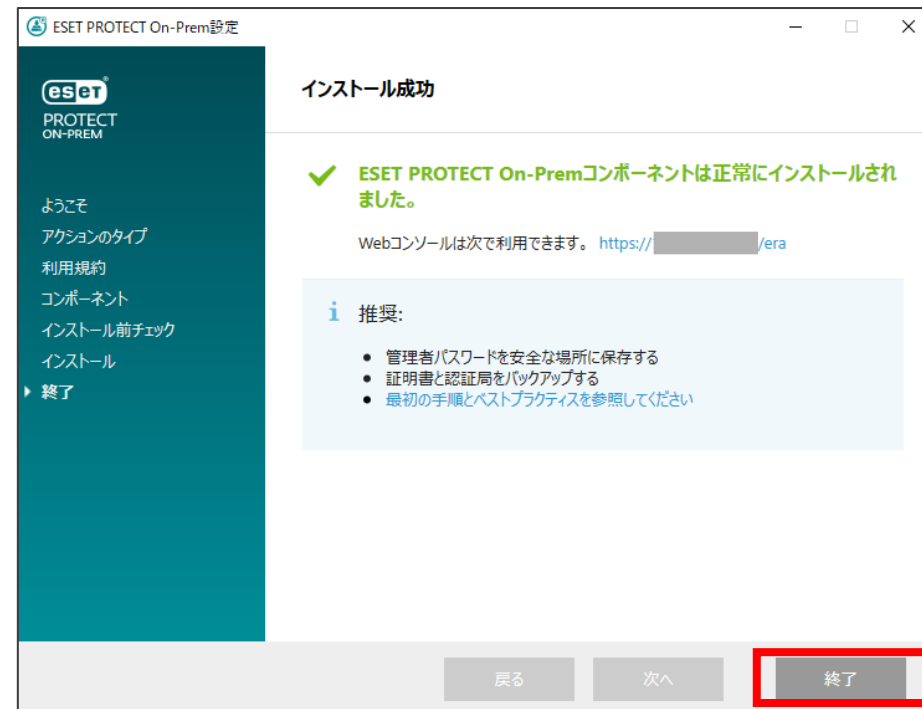
- [インストール]をクリックし、インストールを開始します。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。

4. ESET PROTECT on-premのセットアップ

- [完了]ボタンをクリックします。
続けて、その他の選択したコンポーネントがインストールされます。
インストールが完了したら、[終了]をクリックします。
以上で、MySQLを利用したESET PROTECT on-premの構築手順は完了となります。



※画像はESET PROTECT on-prem V12.0のものです。